

参考 我が国及びアジアにおける社会的責任投資の現状

我が国における現状

我が国では、SRI 型投資信託の一形態として、企業の環境配慮行動をスクリーニングの基準とする投資信託商品が、1999年8月に初めて登場し、現在までに9社から13種類の投資信託商品が登場している。

2003年2月現在の総資産残高は、約700億円になる。我が国におけるこれまでのSRI型投資信託商品は、企業の環境配慮行動に注目したものが中心となっている。しかしながら最近になって、環境面だけではなく企業の倫理的・社会的行動に注目したファンドやインデックスを設定する動きが広がりつつある。

図表 6.1 我が国のエコファンドの現状

2003年2月21日現在（ファンド設定順）

設定・運用会社名 (評価担当会社)	設定月	ファンド名称	純資産 (億円)	基準価額 (円)
一般(注)				
日興アセットマネジメント (グッドバンカー)	1999年8月	日興エコファンド	384.26	5,079
損保ジャパン・アセットマネジメント (損保ジャパン、損保ジャパン総合研究所、損保ジャパン・リスク・マネジメント)	1999年9月	損保ジャパン グリーン オープン (愛称 ぶなの森)	73.00	6,242
興銀第一ライフ・アセットマネジメント (グッドバンカー)	1999年10月	エコ・ファンド	47.17	5,223
UBSグローバル・アセット・マネジメント (日本総合研究所)	1999年10月	UBS日本株式エコ・ファンド (愛称 エコ博士)	38.18	5,611
UFJパートナーズ投信 (UFJ総合研究所)	2000年1月	エコ・パートナーズ (愛称 みどりの翼)	28.90	4,581
朝日ライフアセットマネジメント (ストック・アット・ステイク、NPO/ブリックリソースセンター)	2000年9月	朝日ライフSR 社会貢献ファンド (愛称 あすのはね)	41.53	6,539
三井住友海上アセットマネジメント (インタリスク総合研究所)	2000年10月	エコ・バランス (愛称 海と空)	11.65	8,065
日興アセットマネジメント (サステナブル・アセット・マネジメント(スイス))	2000年11月	日興グローバル・サステナビリティ・ファンド (愛称 :globe) A(ヘッジなし)	13.98	6,654
		日興グローバル・サステナビリティ・ファンド (愛称 :globe) B(ヘッジあり)	8.43	5,251
大和住銀投信投資顧問 (イノベスト・ストラテジック・バリュー・アドバイザーズ(米国))	2001年6月	グローバル・エコ・グロース・ファンド (愛称 Ms. グリーン) A(ヘッジあり)	24.86	6,380
		グローバル・エコ・グロース・ファンド (愛称 Ms. グリーン) B(ヘッジなし)	39.97	6,812
小 計			711.93	-
確定拠出年金				
日興アセットマネジメント (グッドバンカー)	2001年10月	年金積立エコファンド (愛称 ICエコファンド)	0.08	7,541
興銀第一ライフ・アセットマネジメント (グッドバンカー)	2001年11月	DIAM エコ・ファンド	0.08	7,783
小 計			0.16	-
合 計			712.09	

注：一般のエコファンドについては、投資家の属性（個人、企業、機関投資家等）は不明。

は、環境以外の評価項目も有するファンド。

（出所：モーニングスター株式会社の投資信託検索ウェブサイトより <http://www.morningstar.co.jp/fund/>）

アジアにおける現状⁷²

我が国以外のアジア地域でも、SRI の萌芽はある。我が国につぐファンド数を持つのは香港である。Generali International、Henderson Global Investors、ISIS Asset Management、Kingsway Fund Management、UBS Global Asset Management がファンドを販売している。このうち香港においてファンドの設定・運用を行う Kingsway Fund Management は 1974 年に設立された投信投資顧問会社である。同社はまた SRI 年金投信を提供する唯一の機関である。同社は、すべての投資信託の運用に関して SRI 原則を適用することを表明している。ギャンプル、タバコ、武器、原子力、動物実験、森林開発についてのネガティブスクリーニングと機会均等、寄付、再生可能エネルギー、汚染防止、効率的資源利用、コーポレートガバナンスについてのポジティブスクリーニングを組み合わせ運用を行っている。同社以外の 4 社はグローバル型の SRI ファンドを販売している。

シンガポールでは Morley Fund Management と UOB Asset Management がファンドを販売している。前者が販売するのはグローバル型の SRI ファンド、後者が販売するのもグローバル型ではあるがシンガポールで設定・運用されている。後者の販売する「ユナイテッド・グローバル・ユニフェム・シンガポール・ファンド」は女性のエンパワーメントを目的に女性の職場での活躍を組織的に支援するコミットメントのある企業に投資するというユニークな方針を有している。投資先企業は、米国、英国、シンガポール、フランス、韓国、スペイン、オランダ、香港、日本、台湾、中国に及び、金融サービス企業の株が約 3 分の 1 を占めている。

台湾では UBS Global Asset Management がグローバル型の SRI ファンドの販売を行っているのみであるが、2002 年 5 月に台湾銀行協会などの主催で初の SRI に関するセミナーが開催され、30 を超える金融機関から参加者があった。

韓国では、Samsung Investment Trust Management が 2001 年 8 月から Eco Equity Fund と Eco Mixed Fund の 2 種類の投資信託を設定・運用している。前者は国内株式を中心に投資するもの、後者は国内債券を中心に投資するものである。環境保護に積極的に取り組む企業や環境ビジネスに積極的に取り組む企業を対象に長期投資を行い、利益の一部を環境保護活動に寄付する仕組みを有している。

マレーシアでは Syariah の融資方針に基づく 13 本のイスラム教ファンドがあり、これらのファンドは特定の活動を除外したり、利子の取立てや高利貸しに対する厳格な方針のもと銘柄選択がされている。また 2003 年 1 月には Maybank Group の Mayban Management Berhad が The Mayban Ethical Trust Fund という SRI

⁷² 谷本寛治編著「SRI 社会的責任投資入門」、2003 年 6 月 日本経済新聞社より作成。

投資信託を設定し販売を開始した。これは、人間性、環境性、社会性の観点から銘柄選定を行う初の非イスラム教 SRI ファンドである。

なお、この他オーストラリアにおける SRI の伸びが近年、著しい。Ethical Investment Association の調べによれば、全体の SRI 市場は 2002 年には 139 億豪ドルであり、対前年比で約 32%の伸びになった。投資信託の資産総額の伸びも約 31%で、2002 年 6 月 30 日まで一年間の投資信託全体の資産総額が 0.1%の減少となったことと対照的である。1996 年には 11 しかなかった投資信託が 2001 年には 46、2002 年には 74 に急増しており、1996 年を基準にすると SRI 投資信託の資産総額の伸びは 700%を超える。

2001 年から 2002 年の間に、Commonwealth fund CSS/PSS と NSW Local Government Superannuation Scheme (LGSS) の二つの年金基金が運用資産の一部で SRI 投資を採用したのは、オーストラリア初の事例となった。オーストラリアにおける SRI 市場の内訳は以下のとおりである。

図表 6.2 オーストラリアにおける SRI 市場の内訳

	百万豪ドル
公募型 SRI 投資信託	1,800
個人の個別 SRI 投資ファンド	124
宗教団体の SRI 投資	6,700
慈善団体の SRI 投資	116
年金基金の SRI 投資	5,000
コミュニティ投資	164
合計	13,904

(市場規模の推計は 2002 年 8 月～9 月に最新の統計を調査するかたちで実施)

(出所) Ethical Investment Association “Socially Responsible Investment in Australia 2002”

また、アジアにおける SRI の普及には、ASrIA (Association for Sustainable & Responsible Investment in Asia) の果たす役割が大きい。この組織は香港に本拠を置く非営利団体で、まだ SRI の取組が見られないアジア諸国において、積極的な普及啓発活動を行っており、2002 年 10 月には、東京で年次総会が開催されている。